

4年制公立大学の設立について

参加者からのご意見と、市議会からのコメントを掲載しています。

- ・ 4年制大学について、先へ進むのか、後退や現在のままで良いのか、国が4年の方向だから4年制ではかきこくない。議論すべき。
- ・ 大学へ移行するというだけで、大学運営、人材育成は後の検討としか回答がない。問題点の改善に向けた実施検討は何らなされていないように思う。
- ・ 4年制大学の設置については、十分な議論を願う。現時点の社会情勢から、時期が今でないといけないのか。
- ・ 4年制大学の設立に関して、理事者側の考えを示すだけでなく、議会側の考え、論点を説明し、市民の声を得るべき。その方が分かりやすい。
- ・ 4年制大学は、市独自ではなく県立大学看護学部敦賀キャンパスとして設立は不可能か。
- ・ 嶺南の病院への就職が少ないのは、病院側に原因がないのか。病院の数が物理的に少ないので、仕方がないのではないか。卒業生が喜んできてくれるような受入体制の確立が先決問題である。
- ・ 4年制大学について、「地域の活性化」「優れた看護師の確保」「若者の市外離れを防ぐ」等々、耳ざわりの良い提案が続くが、目的がどれか、何が一番敦賀市として求めている事なのかが不明。加えて、開学以降の費用負担が記されておらず、この資料のみで設立判断は困難と思う。個人的な意見としては「少子化」という概念が抜け落ちていると感じる。反対の立場である。
- ・ 大学はほしい。早く専門家の協力をえてほしい。

議会報告会を開催した時点では、4年制公立大学について調査途中の段階でしたので、市民の皆様のご意見に対し、明確な方向性などをお答えすることが出来ず反省しております。

先の12月定例会において決議をつけて看護系4年制公立大学設置に関連する予算を認め、事実上、議会として大学設置を認めました。26年4月の開学を目指し検討が進められる中、議会としても新たに敦賀市公立大学設置特別委員会を設置し、素晴らしい大学となるよう、しっかりとその内容を見極めて参ります。